



# 「べてるの家」が また！福山にくるでえ～

講演会のお知らせ

## 市民のための 精神保健福祉講演会2008

### テーマ:「べてるの家」の当事者研究 -「当事者研究」の実際を学ぶ-

講師:高田 大志(たかだ たいし)さん(浦河赤十字病院PSW)  
伊藤 知之(いとう ともゆき)さん(べてる当事者スタッフ、PSW)  
※「べてるの家」のプロフィール(ウラ面をご覧ください)

日時:2008(平成20)年3月2日(日曜日)午後2時～5時  
会場:イコール福山(男女共同参画センター) [福山ロッツ地下2階]  
主催:ココねっと(こころネットワーク福山)  
共催:下永病院・松永駅前クリニック



※この講演会は、(社)広島県精神保健福祉協会の「平成19年度地域交流支援事業」助成を受けています。  
協賛:馬野神経科クリニック、四季の会、下永病院・松永駅前クリニック、びんごクリニック、  
福山仁風荘病院、福山友愛クラブ、ほっとはうす のばら、  
社会福祉法人まどか(すみれ工房・とまり木)、三谷整体、遊心工房 他  
後援:福山市社会福祉協議会  
参加費:300円  
交流会:講演会終了後(17:30～19:30)に交流会を開催します。交流会の参加費は800円  
(前売りのみ、限定70名です)。場所は、イコール福山(上記と同じ会場)です。

2006年に開催した「べてるの家」が福山にくるでえ～講演会2006  
あれから……2年……。 「べてるの家」が再び福山にくるでえ～。  
今回は、「当事者研究」について、実際にどのように行なうのかについて学びましょ  
う。「当事者研究」について知り、「当事者研究」を行なうためのヒントを手に入れませ  
んか。参加をお待ちしています

#### 問い合わせ先

ほっとはうす のばら 084-928-4647(FAX兼) / 担当:久次米  
長崎和則(ココねっと世話人)090-4692-0994

#### 会場案内

- イコール福山(福山市西町1-1-1)  
福山ロッツ地下2階(地図参照)
- ◆できるだけ公共交通機関をご利用ください。無料巡回バスあり(右表)。
- ◆駐車場については、千円以上の買い物をされると3時間の駐車券をもらえます。
- ◆駐車場は第2、第3駐車場

福山ロッツ前 発	
時	分
10	10 25 40
11	00 15 30 45
12	05 20 35 50
13	15 30 45
14	00 20 35 55
15	10 30 45
16	00 15 40 55
17	10 25 50
18	05 20 35 55
19	15 30 45
20	00
福山ロッツ	
福山駅発は時刻表の5～6分後です	



# 「べてるの家」のプロフィール

## ■ べてるのはじまり

1978年、回復者クラブどんぐりの会の有志メンバー数名が、浦河教会の旧会堂を拠点として活動をはじめました。その後、多くの当事者メンバーが集い、交流するようになりました。

1983年、浦河日赤病院の精神科を退院した早坂潔精さん（現・浦河べてるの家代表）をはじめとする精神障がい体験した回復者数名が、浦河教会の片隅で、地元日高昆布の袋詰めの下請け作業をはじめました。

1984年に当時浦河教会の牧師だった宮島利光氏から、「べてるの家」と命名されました。現在では、精神障がいばかりではなく、様々な障がいを持った当事者が活動に参加し、地域で活動しています。



グループホーム「べてる」

## ■ 浦河町とは？

北海道の東南、襟裳岬にほど近い人口1万5千人の町です。スローガンは「丘と海とまきば」。サラブレッドや日高昆布で有名な町です。



## ■ 「地域のために、日高昆布を全国に売ろう」

べてるの家の歩みは、様々な悪条件を好条件とし活かしてきた歴史から生まれたものです。

精神障がいを抱えながら生きようとする当事者にとっても社会的な支援体制の乏しさや地域経済の弱体化が、当事者自身の生きづらさと重なり合ったとき、「地域のために、日高昆布を全国に売ろう」という起業の動機につながりました。



## ◆ 小規模通所授産施設「浦河べてる」

「地域交流事業部」

・イベント ・オリエンテーション研修 ・ICT

「新鮮組事業部」

・製めん ・水産 ・環境清掃 ・農産

◆ 「ニューべてる」では、「販売製造事業」と「4丁目ぶらぶらざ」の2つの仕事をしています。

## ◆ べてるのモットー

1. 利益のないところを大切に
2. 安心してさぼれる会社作り
3. べてるの繁栄は地域の繁栄
4. 三度の飯よりミーティング
5. 手を動かすより口を動かせ